

# 大学生が好む企業の特徴に関する傾向 (今年の傾向)

「コミュニケーションが密で、一体感を求められる」「ウェットな人間関係で、プライベートも仲が良い」「多くの人を巻き込んで行う仕事の割合が多い」等の特徴が、多くの大学生から好まれる傾向が読み取れる。

大学生の「好む企業の特徴」について、「経営スタイル」「貢献と報酬の関係」「成長スタイル」などの観点で29項目を挙げた。各項目について、A/Bの対立概念をおき、自身の考えとして当てはまるものを、下の4つから選択する形式で聞いた。

- 「A」「どちらかといえばA」「どちらかといえばB」「B」

下表は、特徴的な項目を抜粋し、回答の分布を集計したものである。

		A	どちらかといえばA	どちらかといえばB	B		
n=11,640							
経営スタイル	1	歴史や伝統がある企業である	29%	45%	20%	7%	若く新しい企業である
	2	安定し、確実な事業成長を目指している	35%	43%	16%	5%	リスクをとり、チャレンジングな事業成長を目指している
	3	経営者主導で事業運営が行われている	6%	23%	49%	23%	現場の社員主導で事業運営が行われている
貢献と報酬の関係	4	評価の良し悪しによって給与が大きく変化する	8%	29%	45%	18%	評価の良し悪しによって給与があまり変化せず、安定的な収入が得られる
	5	個人の生活をサポートする制度(休暇制度や各種手当など)はないが、給与は高い	4%	20%	57%	18%	個人の生活をサポートする制度給与は低い
	6	入社直後の給与は低いが、長く働き続けることで後々高い給与をもらえるようになる	27%	56%	14%	3%	入社直後から高めの給与をもらえるが、長く勤め続けてもあまり給与が増えない
成長スタイル	7	これまでの経験(学業など)を活かして成長できる	17%	31%	31%	21%	これまでの経験(学業など)とは無関係に、ゼロから学べる
	8	短期で成長できるが、体力的・精神的なストレスもかかる	9%	30%	42%	19%	短期での成長はしにくい、体力的・精神的なストレスがかからない
	9	周囲に優秀な人材が多く、刺激を受けられる	38%	46%	12%	4%	周囲と比べ、自分が主役として活躍できる
	10	幅広く多様な人と、人間関係を築ける	39%	37%	18%	7%	特定の信頼できる人と、深い人間関係を築ける
ワークスタイル	11	個人の裁量権は小さいが、ステータス感のある企業(組織)で働ける	16%	45%	28%	11%	あまり知られていない企業(組織)だが、主役感のある仕事ができる
	12	多くの人を巻き込んで行う仕事の割合が多い	39%	45%	13%	3%	一人で完結する仕事の割合が多い
	13	特定の地域で働く	28%	29%	24%	19%	全国や世界など、幅広い地域で働く
	14	仕事と私生活のバランスを自分でコントロールできる	36%	47%	13%	3%	仕事と私生活は区別なく、一体として働ける
コミュニケーションスタイル	15	ウェットな人間関係で、プライベートも仲が良い	43%	47%	9%	2%	ドライな人間関係で、プライベートでは関わりがない
	16	コミュニケーションが密で、一体感を求められる	49%	43%	7%	1%	コミュニケーションは希薄で、個人の自由に任せる

\* 網掛け・・・ 白字 各項目内で最も選択率が高い選択肢  
黒字 同じく、2番目に選択率が高い選択肢

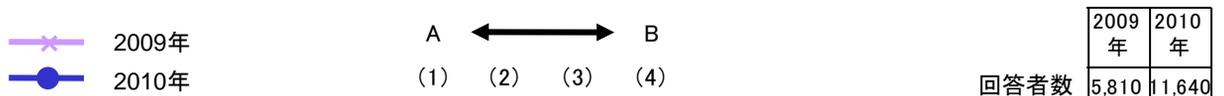
# 大学生が好む企業の特徴に関する傾向 (昨年との比較)

昨年との比較を行ったところ、大学生が「好む企業の特徴」に、大きな変化がみられないことがわかった。

大学生の「好む企業の特徴」について、「経営スタイル」「貢献と報酬の関係」「成長スタイル」などの観点で、29項目を挙げた。各項目についてA/Bの対立概念をおき、自身の考えとして当てはまるものを、下の4つから選択する形式で聞いた。

- 「A」「どちらかといえばA」「どちらかといえばB」「B」

その上で、「A」に1点、「どちらかといえばA」に2点、「どちらかといえばB」に3点、「B」に4点の点数を当てはめ、項目ごとに平均値をとった。下記グラフは、特徴的な項目を抜粋し、昨年との比較を行ったものである。



		A ←→ B		2009年	2010年		
		(1)	(2)	(3)	(4)	回答者数	
経営スタイル	1	歴史や伝統がある企業である			若く新しい企業である	2.0	2.0
	2	安定し、確実な事業成長を目指している			リスクをとり、チャレンジングな事業成長を目指している	1.8	1.9
	3	経営者主導で事業運営が行われている			現場の社員主導で事業運営が行われている	2.9	2.9
貢献と報酬の関係	4	評価の良し悪しによって給与が大きく変化する			評価の良し悪しによって給与があまり変化せず、安定的な収入が得られる	2.7	2.7
	5	個人の生活をサポートする制度(休暇制度や各種手当など)はないが、給与は高い			個人の生活をサポートする制度を充実させる代わりに、給与は低い	3.0	2.9
	6	入社直後の給与は低い、長く働き続けることで後々高い給与をもらえるようになる			入社直後から高めの給与をもらえるが、長く勤め続けてもあまり給与が増えない	1.9	1.9
成長スタイル	7	これまでの経験(学業など)を活かして成長できる			これまでの経験(学業など)とは無関係に、ゼロから学べる	2.5	2.5
	8	短期で成長できるが、体力的・精神的なストレスもかかる			短期での成長はしにくい、体力的・精神的なストレスがかからない	2.8	2.7
	9	周囲に優秀な人材が多く、刺激を受けられる			周囲と比べ、自分が主役として活躍できる	1.8	1.8
	10	幅広く多様な人と、人間関係を築ける			特定の信頼できる人と、深い人間関係を築ける	2.0	1.9
ワークスタイル	11	個人の裁量権は小さいが、ステータス感のある企業(組織)で働ける			あまり知られていない企業(組織)だが、主役感のある仕事ができる	2.4	2.3
	12	多くの人を巻き込んで行う仕事の割合が多い			一人で完結する仕事の割合が多い	1.9	1.8
	13	特定の地域で働く			全国や世界など、幅広い地域で働く	2.3	2.3
	14	仕事と私生活のバランスを自分でコントロールできる			仕事と私生活は区別なく、一体として働ける	1.7	1.8
コミュニケーションスタイル	15	ウェットな人間関係で、プライベートも仲が良い			ドライな人間関係で、プライベートでは関わりがない	1.7	1.7
	16	コミュニケーションが密で、一体感を求められる			コミュニケーションは希薄で、個人の自由に任せる	1.6	1.6